

上北沢桜並木通信 第 16 号

文化祭のご案内 - 11月2日(日)・3日(月) 上北沢区民センター -

当会議では、小さなお子様から長年上北沢にお住まいの方まで楽しんでいただける内容の展示、催し物を企画しています。ご家族揃ってお出かけいただきご覧ください。
詳しいことは、近日、ポスター、チラシ等でお知らせいたします。

●創作影絵上映会 石井 昭(いしいあきら)氏作 <企画制作:上北沢桜並木会議>

【上映作品】・上北沢の昔話「竜神の嫁」
・上北沢の新しい昔話「雷の子供」

日時：11月2日(日)・3日(月) 15:00~16:00

場所：上北沢区民センター 2階音楽室



●展示 「上北沢の歴史」

場所：上北沢区民センター 入り口右側

- ・縄文時代の上北沢にタイムトラベル 魔法の箱をのぞいてみると…!?
- ・昭和レトロの上北沢のまち&とおり (写真、地図)

秋の実態調査を行いました - 9月14日(日) -

桜並木には、黄色く色づき始めたばかりの落葉がちらほら見え、昨年秋の雨の実態調査とは違って、朝から少し蒸し暑く、一日中曇りでした。

参加者は、今回の調査でご指導いただく石井樹木医、日頃桜並木の管理に直接携わる区の方を含め、上北沢桜並木会議の会員等17名でした。

今年の実態調査は、予定されている桜並木東側の水道工事を前提に、桜木の樹勢を把握し、工事による桜木への影響を最小限に抑える対策を考える機会ともなりました。午後は場所を区民センターの会議室に移して、石井樹木医の調査まとめとセミナーが行われました。

[次ページへつづく]



桜並木の落ち葉掃除を行っています。お時間がある方はご協力下さい。
日曜日 10:00~ 木曜日 8:15~ (概ね30分くらいです)

実態調査の概況

- ・過去に胴巻きをした桜木は順調に回復している。
- ・キノコの手害（ナラタケモドキ、ベッコウダケ）が増えている。ナラタケモドキによって、No.5は、昨年枯死した桜木を伐採。秋に植え替えをしたが、冬には枯死した。No.32、No.42は、近々枯死する可能性大きい。
- ・5月の薬剤散布の効果は大きい、モンクロシャチホコの被害は、減っていない。
- ・害虫のコスカシバは減っている。
- ・車による擦傷、箇所は減っていない。
- ・弱った桜木への枝きりによる回復効果は大きいと思われる（No.47、他）。

水道工事への注意と対策

- ・アスファルトでの根の盛り上がり箇所は太い根があり、注意して傷をつけず掘ること、その場合、500円玉以上の太さの根を出来るだけ切らないこと。切った後は、消毒薬を塗ること。
- ・BCブロックのうちNo.3からNo.7までにナラタケモドキの菌糸が散らばっている。広範囲の土壌改良を期待する。
- ・No.3からNo.7までとNo.13からNo.16まで、ナラタケモドキの影響で弱っているの、根きりによる菌糸の感染が促進される恐れある。

昨年の調査時との桜並木の変化

石井樹木医の評価では、昨年と比べてBランクからAランクへと格上げされ良化した桜木は、No.2、10、13の3本です。一方、格下げされた桜木は、No.42と15の2本でした。とくに、No.42の悪化は、突然の悪化であり、あらためて、ナラタケモドキの被害の恐ろしさを知らされました。

区設定 コード 樹木番号	石井樹木医の評価		変化
	2007/9/30	2008/9/14	
2	B	A	↗
10	B	A	↗
13	B	A	↗
15	A	B	↘
42	A	C	↘

観察状況「4：要対策あるいは観察継続」と水道工事時に注意が必要な桜木を抜粋

区設定 コード 樹木番号	対策	観察結果
6	水道工事時要注意	アスファルト上の根の盛り上がりあり。
7	土壌改良。水道工事時要注意	ナラタケは消えたが、要注意。
15	経過観察要。枝切り必要 水道工事時に土壌改良	ナラタケモドキあり。
16	要嚴重観察。水道工事時に土壌改良	胴巻き撤去後、葉付き良く改善方向であるが、ベッコウダケが出現。枯れる可能性が依然あり。
32	将来倒木の恐れ、枝切りで対応	幹が一部腐食。枝の勢い弱い。根元にベッコウダケ増大。根のほり方に異常あり。2006/8モンクロシャチホコ毛虫発生。
41	倒木の恐れ、将来土壌改良	若木なるも、根株腐朽。ナラタケモドキで枯死寸前。
42	要観察	ベッコウダケとナラタケモドキが根元に出現。葉薄く枯死寸前。
43	枝切りを促進し、樹勢を回復する	コフキサルノコシカケ全体に進行。一部回復するも、幹腐朽進む。
47	頻りに観察必要。更なる枝の剪定要	ベッコウダケ増大悪化。根の半分はぼろぼろに腐朽進行中。幹の中の50%以上は腐朽。腐朽は進行中。中心部分に直径15cmほどの元気な枝が真上に伸長、剪定の効果あり。

詳しくは桜並木会議ホームページ (<http://www.sakuranamiki.org/>) 「桜並木の現状」・「桜の観察状況」をご覧ください。

桜診断位置図

No. 45 良性のコブ



No. 10 不定根



モンクロシャチホコが大発生している



根が道路の下に入り、アスファルトを持ち上げている



観	1	良好
察	2	問題は少ない
状	3	多少問題あり
況	4	要対策あるいは観察継続
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木（5年以内）
	×	倒木後の切り株か、切り株なく桜木戸籍のみ

診断(平成20年9月14日)
更新(平成20年9月22日)

街歩き(その3)にご参加下さい

～北沢用水の流れをたどり、上北沢4、5丁目から甲州街道へ～

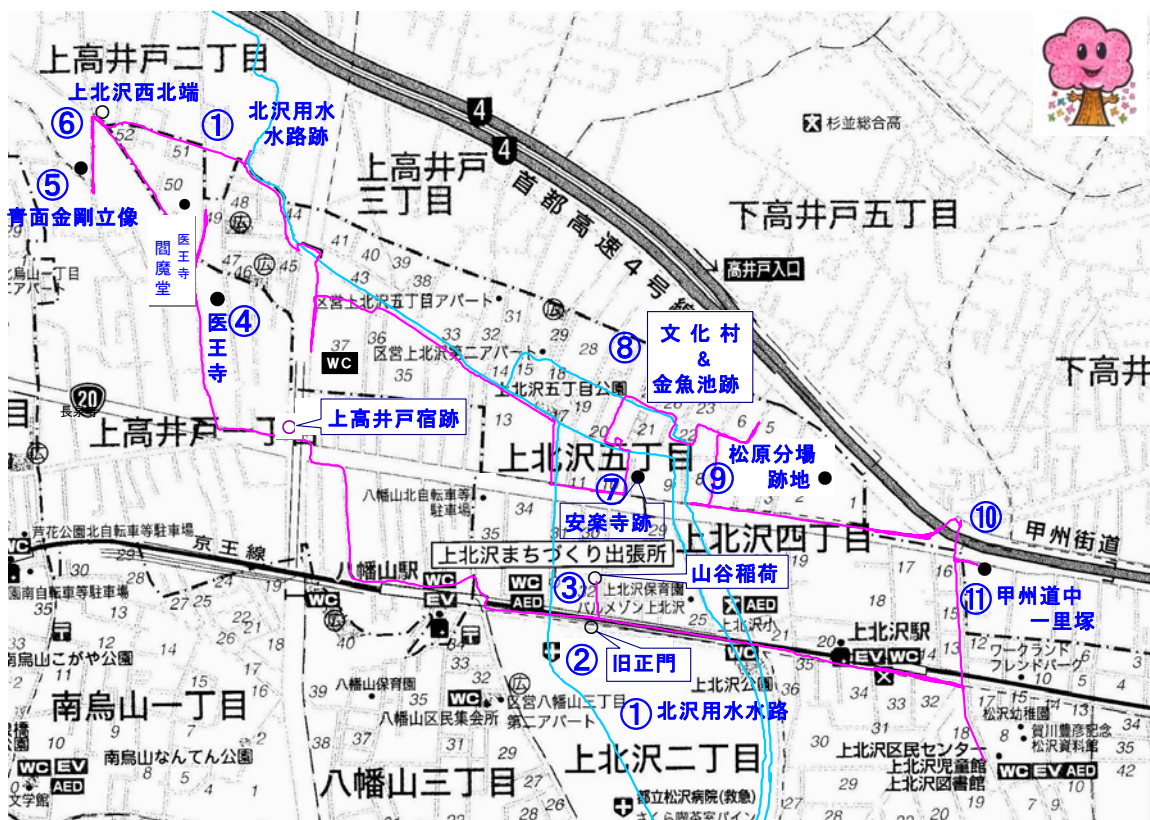
世田谷区の地図を広げてみると、上北沢の町がずいぶん変わった形をしていることがわかります。江戸時代の「旧上北沢の時代から、昭和42年(1967)に(桜上水地区)が分離されるまでの「上北沢町」は、南は現在の経堂小学校、東は日本大学文理学部までの広さで、北と西はほぼ現状と変わらず、特異な形で杉並区と接していました。

今回の街歩きは、この西北部の上北沢4丁目と5丁目を中心に歩いてみます。

日 時：10月12日(日) 午後1時30分

集合場所：上北沢区民センター(ロビー)

コース概略：区民センター⇒北沢用水の流れ・松沢病院正門・山谷稲荷→八幡山駅→甲州街道・環状八号線→杉並区〔上高井戸宿場跡・医王寺・青面金剛立像〕→上北沢5丁目、安楽寺廃寺跡・文化村と金魚池・松原分場跡地・下高井戸宿場跡・甲州街道一里塚→上北沢4丁目商店街⇒区民センター(午後4時頃の予定)



上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80余年前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。毎週日曜日に行う日曜ミーティングと、鳥山総合支所からもご出席いただいている月1回の月例会における話し合いをもとに活動しております。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660

- 桜並木会議では、会員の数を増やし、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。桜並木会議が行う行事・日曜ミーティング(毎週日曜 10:00～12:00 区民センター)等に、是非ご参加下さい。
- 桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。
- 桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。